

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？

ACP
人生会議

もしものときのために 「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

11月30日（いい春取り・春取おれ）は人生会議の日

話し合いの進めかた（例）

誰でも、いつでも、
命に関わる大きな病気やケガをする
可能性があります。

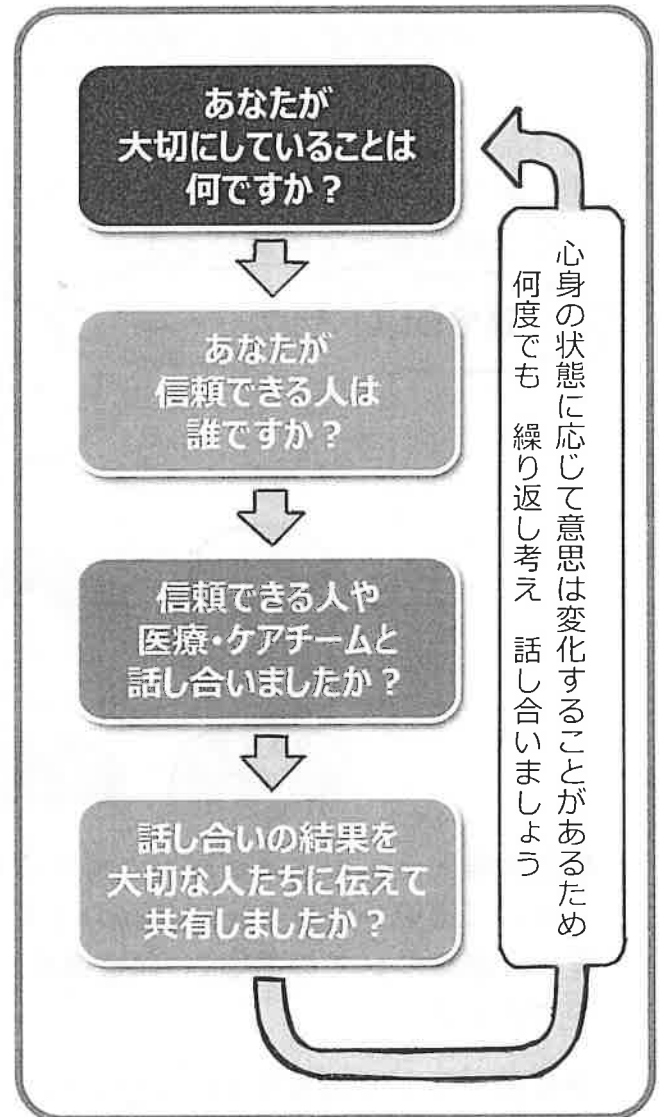
命の危険が迫った状態になると、
約70%の方が、
医療やケアなどを自分で決めたり
望みを人に伝えたりすることが、
できなくなると言われています。

自らが希望する医療やケアを受けるために
大切にしていることや望んでいること、
どこでどのような医療やケアを望むかを
自分自身で前もって考え、
周囲の信頼する人たちと話し合い、
共有することが重要です。



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、
前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を
「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」
と呼びます。

あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや
家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。



このような取組は、個人の主体的な
行いによって考え、進めるものです。
知りたくない、考えたくない方への
十分な配慮が必要です。



詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html



おぼえがき（本編・医療編）について

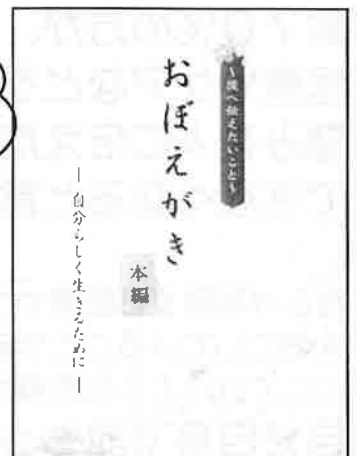
～後へ伝えたいこと～

自分らしく生きるために

とんからりんの家有志の皆さんが2009年に作成された「おぼえがき」を今年8月に、本編・医療編の2部構成で改訂発行しました。

「おぼえがき」は、いままでの人生を振り返り、今からの人生をどう生きるか、過去を記録し、今を生き、未来へ話すという意味があります

◆本編・・・「わたしのこと、健康のこと、財産のこと、遺言書（状）のこと、葬儀について、わたしの大切な方々へ」を自分自身で書き、大切な人と思い出を話し合ってみましょう



◆医療編・・・人生最終段階と考えられる状態となった場合に備えるためのものです。ご家族や親族などと相談のうえ、話し合った内容を「人生最終段階の医療・介護についての要望」（4枚複写）に記載し、協力医療機関に提出することができます。

※裏面の厚生労働省作成のリーフレットを参照しましょう

